お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）		スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。また、ランプにからませない。（破損して落下の原因）
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
	節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。		

点検

■6ヶ月に1回、外観及び機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条・消防庁告示第3号と第14号]

■24（48）時間以上充電後、非常点灯持続時間が20（30）分以下となったら蓄電池を交換する。（）内の数値は非常灯の場合

■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

ランプ交換・器具の清掃　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

適合ランプ	FL20S（S/18）
適合グロースタータ	FG-1E

指定された適合ランプを使用してください。

清掃

○カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
・みがき粉やたわし　・殺虫剤
・シンナーなど揮発性のもの　・熱湯

○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

⚠注意

○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）

○ランプはソケットに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）

○使用済みのランプは不用意に割らない（ガラスが飛散してけがの原因）

⚠警告

器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

蓄電池の交換　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

適合蓄電池　4N23AA

蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。

⚠警告

蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない
また、火中に入れない（やけどや衣類損傷の原因）

Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎（0467）41-2728（施設照明営業課）
☎（0467）41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E767Z167H23

三菱階段通路誘導灯・非常用照明器具兼用形【蓄電池内蔵形】

埋込下面開放形器具

保管用

形名 **FBH2132**（本体KH2322　反射板PH2502：公共施設　**K1-FRS2-202・SK1-FRS2-202**）
FBH2332（本体KH2322　反射板PH2332）

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止　絶対に行わないでください。	厳守　必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	電源線は器具の外郭に直接触れない。（過熱して火災の原因）
	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。（絶縁不良により感電・火災の原因）
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）		調光用専用器具以外は調光させない。（器具が過熱して火災の原因）
	雨水のかかる場所で使わない。（水気・湿気が入り感電の原因）	厳守	使用地域の周波数にあった器具を使用する。（火災の原因）
	器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。（火災・感電の原因）		

お願い

■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。

■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。（蓄電池の寿命が低下することがあります。）

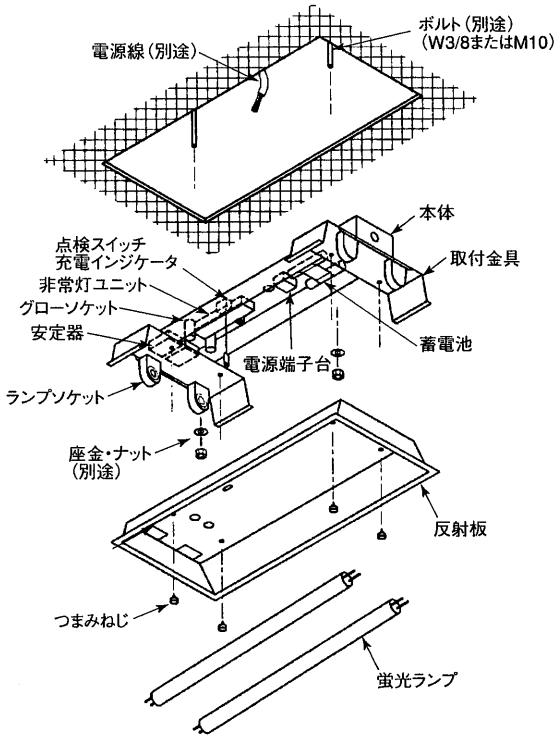
定格

	平常時	非常時
使用ランプ	FL20S（S/18）×2	FL20S×1
定格電圧	100V	密閉形 Ni-Cd蓄電池 4.8V 2300mAh
入力電流	0.78（0.76）A	
入力電力	51（49）W	

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

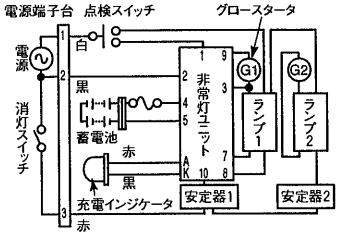
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



＜上図はFBH2132を示す＞

接続図



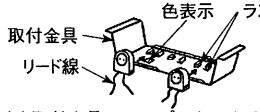
1 取付前の確認

器具質量の10倍以上（1ケ所あたり）に耐えるよう、器具取付部の強度を確保する。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

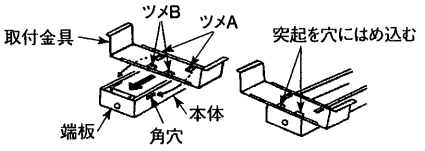
2 ランプソケット・取付金具を取付ける

(1) ランプソケットの取付けは、右上図のようにソケットリード線の色と取付金具に表示してある色を合わせてランプソケット用のツメに差し込む。
間違えて差し込むとランプが点灯しません。
（表示のない器具は何れに差し込んでも問題ありません。）



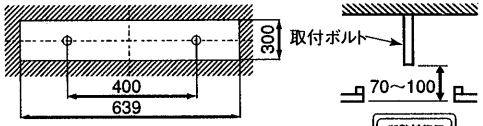
⚠警告
ソケット装着時に配線が噛み込まないようにする。

(2) 取付金具にランプソケットの装着が完了したら、次に取付金具のツメAを本体の外側から角穴にはめ込み、矢印のように本体端部まで押し込む。次にツメBを端板の縁へはめ込み、ツメBの突起を端板の丸穴へ確実にはめ込む。



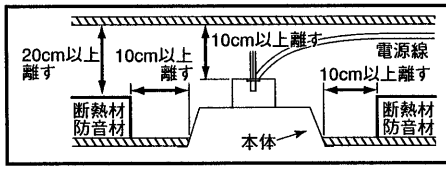
3 天井に埋込穴をあける

天井に下図のような埋込穴および取付ボルトを設ける。



⚠警告
断熱施工天井に取付けない（火災の原因）

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。

4 器具本体をボルトに取付ける

(1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
(2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
(3) 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。
（ゆるみ止め：ダブルナット・歯付座金・ばね座金など）
ナットの締付トルクは0.4～0.6 N·mです。
取付金具の縁が天井に当たったところで止める。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

締付トルクが過ぎると、器具変形、天井面とのすき間の原因となります。
すき間を見ながら締付け調整してください。

5 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
(2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。
＜D種（第3種）接地工事が必要です。＞
○電源端子台の容量は20Aです
○適合電線：φ1.6mm単線　φ2.0mm単線
○電源線は専用回路にする。

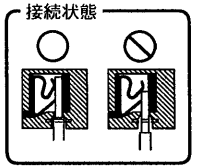
⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

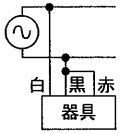
⚠警告
送り配線は誘導灯及び非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

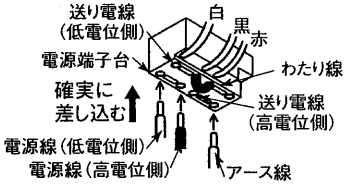
⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

接続状態



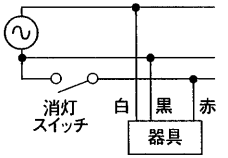
＜単相2線2線引き・平常時消灯しない場合＞

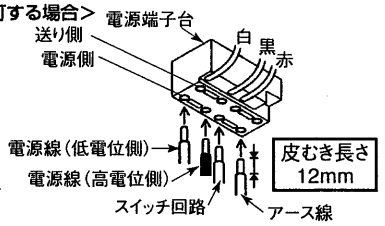




⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

＜単相2線3線引き・平常時消灯する場合＞





・電源端子台のわたり線をはずす。
・誘導灯としてこの結線方法を使用する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。

○通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6 mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

6 反射板を取付ける

付属のつまみねじ4本で反射板を取付ける。
（反射板の縁が天井面に当たるまで締め上げる。）

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

7 ランプ・グロースタータを確実に取付ける

ランプ・グロースタータを確実に取付ける。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

8 点灯を確認する

(1) 非常点灯しない場合
・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
・蓄電池は24（48）時間以上充電してありますか。（）内の数値は非常灯の場合
(2) 充電インジケータ（緑色の表示ランプ）が点灯しない場合
・電源は通電されていますか。
・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
・蓄電池、非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。